

報道機関 各位

山口大学医学部×宇部市主催 市民公開講座 「だれもが孤立しないひきこもり支援」を開催

山口大学医学部 SDS 支援システム開発学講座※と宇部市は、令和 6 年 11 月 23 日（土）、市民公開講座「だれもが孤立しないひきこもり支援～生きづらさを抱えた人やその家族と共に考え共に歩く支援～」を下記のとおり開催します。

山口大学と宇部市はひきこもりに関する地域の支援体制を充実させるために、2022 年医学部に「社会連携講座 SDS 支援システム開発講座」を設置しました。以来、全国で初めて大学と地域の連携によるひきこもり支援の人材育成に取り組み、サポーターやゲートキーパーの養成講座を開催してきました。

このたび開催する市民公開講座では、本学医学部 SDS 支援システム開発講座の山根俊恵教授による支援体制の取り組み報告、訪問看護ステーションいしずえ代表田邊友也氏による基調講演、波乗りクリニック小早川節院長による講演、ひきこもり経験者やその家族とのパネルディスカッションを行います。

一般市民の皆様に正しい知識を持ってもらうことで、誰一人として孤立することのない地域づくりを進めていきます。

つきましては、公開講座について広くご周知いただきますとともに、取材及び報道等についてご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、取材を希望される場合は、11月22日（金）までに山口大学医学部総務課広報・国際係へご連絡いただきますようお願いいたします。

※SDS とは、Social Distancing Syndrome（社会的距離症候群）の略です。

記

1. 日 時 令和 6 年 11 月 23 日（土）9：30～15：45（開場 9：00）
2. 場 所 山口大学医学部講義棟 C 第 3 講義室
〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1
3. 対 象 宇部市在住者または宇部市勤務・在学者
4. 参加費 無料
5. 定 員 200 名

（注）詳細は、山口大学や宇部市の HP 等でお知らせしています。

<https://ds27i1.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~med/news/4682/>

当日参加も受付いたします。

この件に関する詳細は下記までお問い合わせください

山口大学医学部総務課広報・国際係（西村）
〒753-8511 宇部市南小串 1 丁目 1 番 1 号
TEL : 0836-22-2009
E-mail : me268@yamaguchi-u.ac.jp

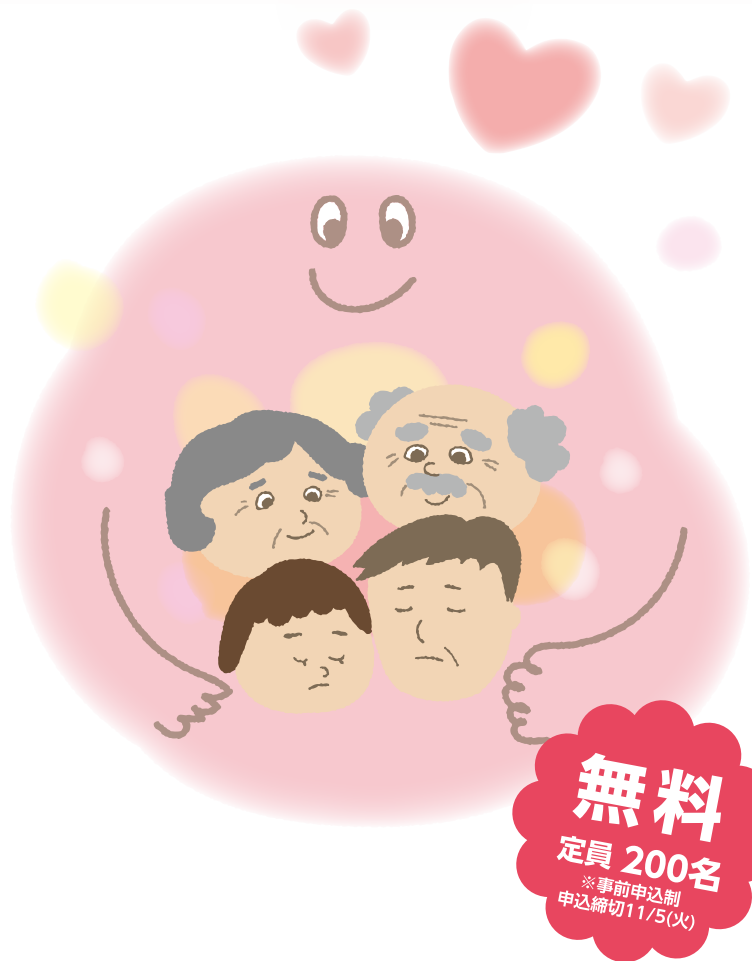
発信者 国立大学法人山口大学総務企画部
総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL : 083-933-5007
FAX : 083-933-5013
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

だれもが孤立しないひきこもり支援

生きづらさを抱えた人や その家族と 共に考え共に歩く支援

生きづらさを感じ、社会の中で、
人とうまく関われなくて苦しい…
と感じていませんか。

誰に相談しても、分かってもらえないのなら、
心を閉ざすしかない…と諦めていませんか。
私たちは、そんな方たちの苦悩を理解し、
つながりたいと思っています。
あなたの勇気ある一歩を応援し続けます。



無料

定員 200名

※事前申込制
申込締切11/5(火)

令和6年 **11月23日** 祝土
9:30~15:45(開場9時00分)

参加申込はこちらから

<https://ds23e.cc.yamaguchi-u.ac.jp/jimu/form/?en=240730133535>



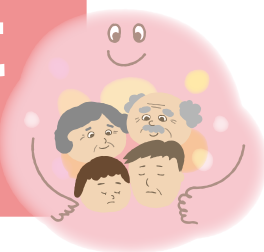
※SDS(Social Distancing Syndrome):
社会的距離症候群のことです

主催／山口大学医学部・宇部市

後援／山口県／山口県警察本部／宇部市教育委員会／(公社)山口県看護協会／(福)宇部市社会福祉協議会／(一社)日本精神科看護協会／(一社)宇部市医師会／
(一社)宇部歯科医師会／(一社)宇部薬剤師会／山口県精神保健福祉士協会／宇部市障害者ケア協議会／(特非)KHJ全国ひきこもり家族会連合会／
山口新聞社／(株)宇部日報社／yab山口朝日放送／(株)FMきらら／山口ケーブルビジョン

だれもが孤立しないひきこもり支援

生きづらさを抱えた人や その家族と 共に考え共に 歩く支援



宇部市と山口大学は、誰一人として孤立することのない地域づくりに取り組んでいます。

誰もがなりうる“ひきこもり”の正しい知識を得ることで、さまざまな生きづらさを抱えている人が、その人らしく生きていける地域共生社会を目指します。

…ひきこもりに代わる用語です…

SDS (Social Distancing Syndrome) : 社会的距離症候群

(定義) SDSとは、さまざまな要因によって、社会や人と一時的に距離を取った結果、徐々に社会とのつながりがなくなり、家族以外の人、または家族とのコミュニケーションの機会が減ってしまった現象概念である。さらに、この状態が長期化することによって自尊心が低下し、社会参加が難しくなる。

プログラム ※興味のあるプログラムのみの参加も歓迎します

9:00 受付・開場

9:30 開会行事

9:45 **講演1**

「信頼できる人に繋がるために」

山根 俊恵 (山口大学医学部 SDS 支援システム開発講座 教授)



11:00 **基調講演**

「ひきこもりをトラウマの視点から理解する」

田邊 友也 (訪問看護ステーションいしずえ 代表)



12:00
~12:45

昼 食

昼食はあらかじめ各自ご準備ください。

13:00 **講演2**

「医療機関がひきこもり支援でできること」

小早川 節 (波乗りクリニック 院長)



14:15 **パネルディスカッション**

ひきこもり経験者・家族・ひきこもり支援者

15:45 閉会行事

日付 **令和6年11月23日(土)**

時間 **9:30~15:45 (開場9:00)**

会場 **山口大学医学部 講義棟C 第3講義室**
〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1

定員 **200名(申込先着順)**

参加対象 **宇部市に住所を有する人、または
通勤・通学する人**

申込方法 **この講座は事前申込制です。**

参加申込はこちらから



申込締切

11月5日(火)まで

駐車場のご案内

お車でお越しの方は、①からご入場ください。
誘導員が構内駐車場へご案内いたします。満車になる場合は外来立体駐車場(②、当日無料)をご案内いたします。大学周辺の店舗、路上への駐車はお控えくださいますようお願い申し上げます。

会場のご案内



お問合せ

山口大学医学部
SDS支援システム開発講座
E-mail:sdsshakai@yamaguchi-u.ac.jp



事前に中止になる場合はホームページでお知らせします
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/med/chair/sds/>

宇部市障害福祉課
電話:34-8522 FAX:22-6052